

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (J A S D A Q コード8732)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成23年4月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成23年4月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成22年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	794	775	860	843	1,249	882	855	627	622	584	729	616
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	75,878	71,294	66,193	79,232	137,860	78,141	69,980	63,673	84,155	71,247	91,748	72,162
顧客口座数 (単位：口座)	126,746	130,930	133,213	135,141	137,924	140,592	142,846	145,622	148,898	151,789	154,260	155,852
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	28,234	30,319	26,375	28,316	28,099	32,030	30,419	33,160	33,237	34,136	33,271	37,244

年 月	平成23年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	611	493	863	738								
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	71,791	65,614	102,934	106,089								
顧客口座数 (単位：口座)	157,862	159,773	161,785	163,794								
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	35,725	36,498	32,152	33,195								

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
 4. 平成20年6月より外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 4月次の概況 >

4月の外国為替市場は、米ドル／円については、前月からのドル買いが継続し一時85円台までドル高円安が進みましたが、その後は、ドル高円安の反動に加え、福島第1原発の事故評価の引き上げや米国債の格付け見通しの下方修正等を受けリスク回避的な円買いが進みドル安円高基調での推移となりました。また、月を通じての変動率は前月を下回る水準となりました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、豪ドル／円等を除き概ね前月並の変動率となり、米ドル／円を含めた全体としての変動率は前月を若干下回る水準となりました。

この結果、外国為替取引高は、上記の外国為替市場状況に加え営業日数が前月と比べ少ないというマイナス要素があったものの短期取引の増加等により前月比約3%増加の106,089百万通貨単位となりました。その反面、営業収益は、これらの短期取引に対するカバー効率が低下したことにより全体の取引高収益率も低下したため738百万円にとどまりました。

また、顧客基盤については、前月に引続き外国為替証拠金取引への注目が継続したこと等から顧客口座数は前月比2,009口座増の163,794口座と堅調となったほか、外国為替取引預り証拠金は、円高の進行に伴い顧客のロングポジション（買建の建玉）が前月より増加したこと等の影響を受け前月比1,042百万円増の33,195百万円となりました。

以 上